

CSR REPORT

キーウェアグループ CSR報告書

2018





ICTを活用し お客様の夢・理想の実現、 持続可能な社会の実現を 目指します

代表取締役社長

三 田 昌 浩

◆キーウェアグループのCSR

キーウェアグループは、社会的役割として「創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献する」ことを掲げています。安全・安心かつ安定した最適な製品・サービスを提供すること、事業を通じて持続可能な社会の実現を目指すことが当社の社会的責任であり、CSRの基本的な考え方です。

◆働きやすい環境づくりに努めています

お客様や社会のニーズに応えるITソリューションサービスを提供し、企業として成長していくためには、さまざまなステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら、経営の健全性・透明性を保ち、誠実な事業活動を推進していくことが重要だと考えています。このような社会的役割や社会貢献のあり方を社員一人ひとりが正しく理解し、実践するためにCSR方針として、当社の考え方を明確にしています。このCSR方針に基づき、毎年目標を設定し、実績を管理し、PDCAサイクルを回しています。

特に社員の意識向上を目指し、社員が参加するイベントを複数行っています。その一つとして会社の周辺の清掃活動を毎月実施し、毎回多くの社員が参加しています。

コンプライアンスを実践することはもとより、当社に起因するシステムの不具合やセキュリティ事故によりお客様に損害を与えるような事態は絶対に招いてはなりません。当社は官公庁、運輸、通信、金融、医療、流通、製造等の多様な分野において社会インフラを支える情報システムの構築に携わっており、緊急時にも対応できるよう常に意識している必要があります。そのために社員への教育・啓発を続けています。

お客様に最適な製品・サービスを提供し、持続可能な社会の実現に寄与するためには、社員が心身ともに健康で、公私ともに充実した生活を送ることも大切な要素だと考え、「健康経営」と「ワーク・ライフ・バランスの実現」を推進しています。時間外勤務の減少や、有給休暇取得率の向上という成果が出ています。また、社員が仕事と子育てを両立させることができる働きやすい環境づくりに努めています。会社・社員・家族の相互理解を深めるため、昨年度に引き続き、社員の家族を会社に招くイベント「キーウェア・ファミリーデー」を開催しました。

企業理念

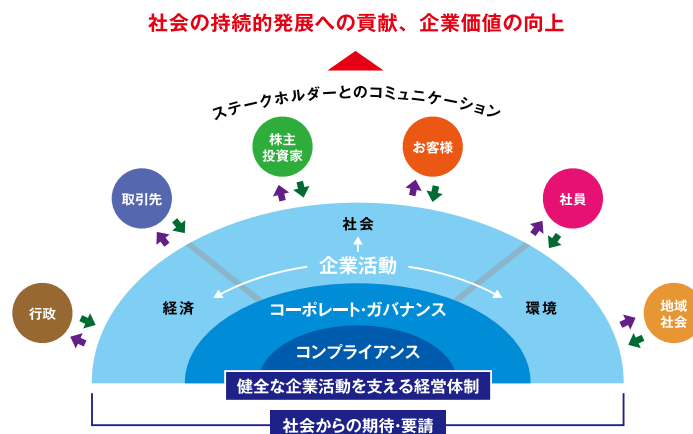
事業領域	情報技術に関する全てを事業領域とします。
企業風土	個人の個性と能力を発揮することに価値を置きます。
社会的役割	創造性に富んだ情報技術によってお客様の要求を超えたソリューションを提供し、お客様の夢・理想を実現させ、豊かな社会の発展に貢献します。
企業スローガン	IT can create it. クリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性を現実のものとしします。

キーウェアグループの社員行動規範

ナレッジを磨け 失敗を恐れるな	常に自己研鑽にはげみ、何よりも経験と知識が重要であると心得よ 挑戦しなければ新しいものは生まれない。沈黙している事より挑戦した結果失敗してもその方が価値がある
常に相手の要求を超えろ	相手の要求に応えるだけでは、相手は感動しない。 常に相手の要求を上回る成果を示し、相手を感動させよ、そこからの会社の、ひいては個人の評価が高まる
国際的な視野を忘れるな	世界は常に変化している、昨日の正解が今日の正解とは限らない、常に新しい情報に目を向け、世界を意識し続ける
公明正大に行動せよ	公明正大な行動が個人を輝かせ、会社の評価を高めると心得よ

CSRの考え方

キーウェアグループは、社会からの信頼と期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら事業活動を行うことにより、社会の持続的発展への貢献を目指しています。



◆ICTを利活用し、社会が抱える課題への対応を目指します

日本の農業は他国と比較して就農者の高齢化が著しく進んでおり、熟練農業者の技能をいかに継承するか、新規就農者をいかに増加させていくかが課題となっています。課題解決のため、農業を日本の成長戦略の柱に位置づけ、新しい農業の担い手を増やす政策が進められています。

当社は、次世代の農業継承者のために、熟練者の栽培技術を可視化し、可視化した技術を学習教材としてシステム提供を行っています。石川県のブドウの事例では、現場で収集した約2万枚の画像情報、半年分の作業記録などから、画像解析技術や統計分析

等で熟練技術を分析、可視化し、学習支援システムの開発を行いました。この学習支援システムを活用することにより、熟練者の技能を習得でき、商品化率が高まるという効果が出ています。こうした事例は、宮崎県のマンゴーや静岡県のイチゴなど各地の農場で行っています。当社の技術で日本の農業を支援できるよう、農業ICTへの取り組みを続けていきます。

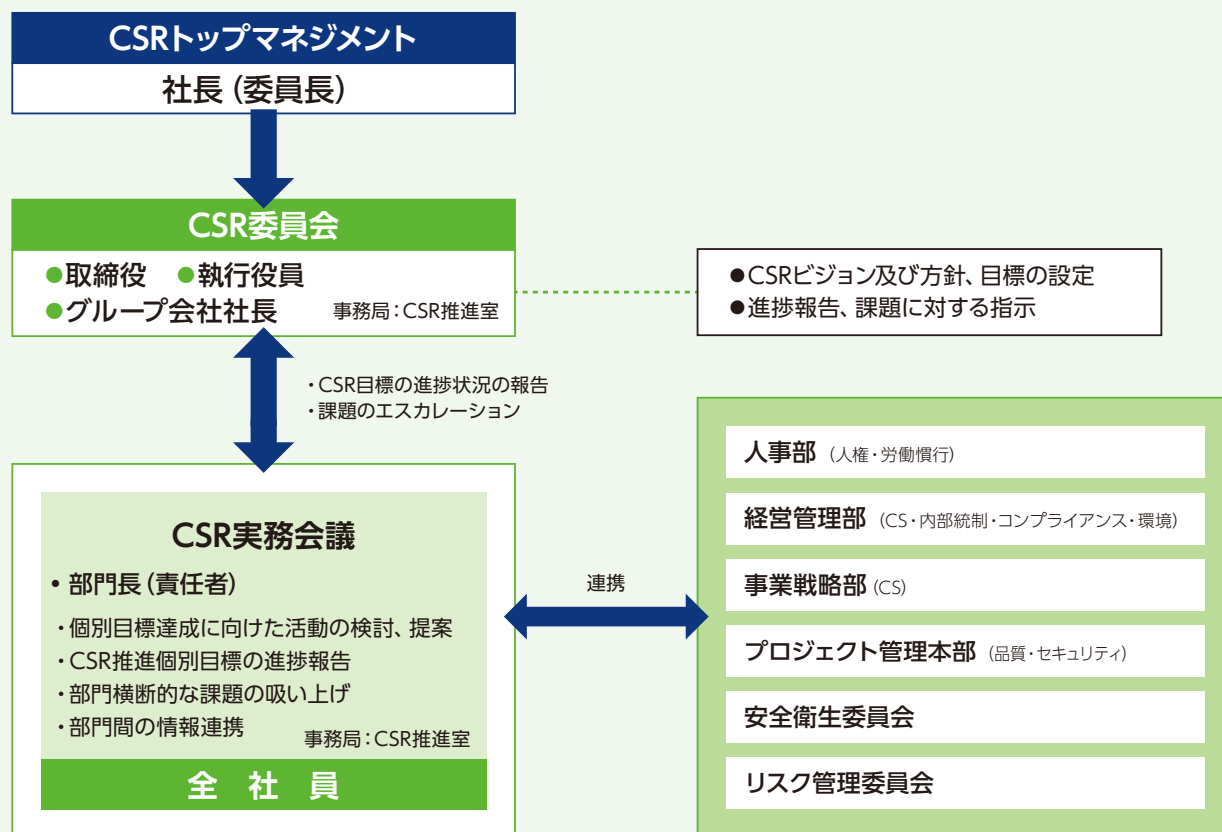
医療分野では、高齢者の増加や医療機関の統廃合による減少等が問題になっています。高齢の方が地元で安心して暮らしていくためには、病気の治療だけでなく、健康の維持も重要になっています。地域医療連携のネットワーク技術を利用した取り組みが進んでいます。個人の医療情報をかかりつけ医と大病院等が連携することで、万が一の際に迅速な対応が可能です。

当社は、地方自治体が進めている地域医療ネットワークの基盤づくりに参加しています。地域医療ネットワークに参加されている方の健康情報の管理に当社の「LifeRoute」が使われています。個人の健康情報を医師と共有することで健康管理に貢献しています。

今日、ICTの利活用は教育、農業、暮らし等幅広い分野に広がっており、社会におけるさまざまな課題に対応していく上で、もはや必要不可欠な存在となっています。当社の企業スローガン「IT can create

it.」に掲げたクリエイティブな発想で、ITの持つ無限の可能性にチャレンジし、新たな価値を創造し、広く社会に提供してまいります。品質の高い製品・サービスを提供することはもとより、お客様に提供するための過程も重要です。全過程においてコンプライアンスを徹底し、確実なプロジェクト管理を行うことを心がけ、常に最先端技術の探求と普及に努めてまいります。これらのことを通じ、ステークホルダーの皆様へ信頼され、成長を期待される企業となるべくさらなる努力を重ねてまいります。

CSR推進体制



CSR方針

キーウェアグループは、社会からの信頼や期待に応えていくために、お客様、株主、社員、取引先、地域社会をはじめとするあらゆるステークホルダーの方々と積極的にコミュニケーションを図りながら持続可能な社会の実現を目指します。

キーウェアグループは、7つの重点領域においてCSR活動に取り組めます。

1 組織統治

我々は経営の健全性・透明性を保ちながら、継続的に企業価値を向上させていくために、経営の効率化・意思決定の迅速化を図りながら適切なコーポレート・ガバナンスの構築・維持に取り組めます。

2 人権の尊重

- ・我々は、あらゆる企業活動の場面において、人々の人権を尊重し差別のない職場環境を目指すとともに強制労働を認めません。
- ・従業員一人ひとりの個性や異なる発想・価値を受け入れ、多様な人材が能力を十分に発揮し成長できる企業を目指します。

3 労働慣行

我々は、情報サービス産業の最大の経営資源は人材であることを認識し、人材の育成と高度化、適正な評価と魅力ある処遇、ワーク・ライフ・バランスなどを実現し、社員一人ひとりが将来を託し夢をかなえられる環境を目指します。

4 環境

我々は地球環境問題を社会の共通課題と捉え、環境負荷の低減を目指し、持続可能な社会の実現に寄与します。

5 公正な事業慣行

我々は、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進します。

6 消費者に関する課題

我々は、品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境についてのマネジメントシステムを運用し、安全・安心かつ安定した製品・サービスを提供します。

7 コミュニティへの参画及び発展

企業市民として社会と共生し、次世代人材の育成、地域社会・国際社会への協力、地球環境保護に寄与します。

暮らしの中の キーウェア



私たちは、情報システム・サービスを通じて
豊かで便利な社会の発展を支えています。



01 空港で



航空関連システム

航空分野で効率的かつ安全な航行を実現するために高い信頼性を必要とするシステムの構築に携わっています。



02 工場で



ERPソリューション

製造・プロセス業／サービス業／商社のお客様を中心に多くの基幹系業務システムの導入実績を有しています。お客様の事業に最適なERPパッケージを活用し、導入提案から構築・運用に至るまで、一貫したサービスを提供しています。



03 流通で



商社向け在庫管理・ 入出庫管理システム

商社向け在庫管理や入出庫管理システムの構築に携わっています。



04 高速道路で



交通情報ソリューション

各種交通情報（渋滞、信号機制御、感知器情報等）の蓄積、表示板への渋滞情報や位置情報等の表示に関するソリューションを提供しています。



05 街中で



野球・ゴルフ・大相撲などの スポーツ情報のニュース配信システム

作成側と取り込み側両方の技術を有し、配信社および新聞社など複数の事例を手がけています。



06 固定電話で、携帯電話で



一般電話（NTT）、携帯電話の通信情報、 パケット通信情報、顧客管理、料金管理など

20年以上にわたってネットワーク事業者の顧客料金システム開発に携わっています。通信料金を計算して各センターに設置されている料金明細センターへ転送するシステムの開発、保守・運用を行っています。

07 病院で



オーダーリングシステム、電子カルテ、臨床検査システム、 院内感染監視システム

病院や検査センターにおける各種医療情報システムのコンサルティングから導入・保守・運用までの一貫したサービスを提供しています。



08 銀行で



金融ソリューション

金融システム構築における各種設計技術と各種業務設計ノウハウの提供をベースに、勘定系業務・情報系業務のシステム構築に対し、上流から下流工程までの一貫したソリューションを提供しています。



09 自宅で



ショッピングサイト

商品販売サイトのシステム開発に携わっています。



10 モバイルで



スマートフォン向けアプリ

スマートフォンを活用して日々の体重や血圧等の数値データを登録・管理できる健康管理サポートサービス「健康からだコンパスLifeRoute（ライフルート）」を提供しています。食事情報や日々の数値データを振り返ることにより、健康維持をサポートします。



11 駅の改札で



駅改札におけるICカード利用など

出改札業務をはじめ、駅の財務会計業務、他社路線との精算業務、ICカードを利用した業務に関するソリューションを提供しています。



16 ホテルで



ホテルソリューション

ホテルの宿泊業務、宴会業務、購買業務などトータルソリューションを提供しています。



15 農場で



ハウス栽培向け農業支援サービス

ハウス栽培における環境や農作業の情報をセンサーネットワークと連携したクラウドシステムでモニタリングすることにより、栽培技法の可視化や農作業の省力化を支援するサービスを提供しています。



14 宇宙で



衛星追跡管制・ 衛星関連データ処理宇宙ステーション運用管制

地上側での衛星運用に関わるソリューションを提供しています。日本の宇宙開発の黎明期から国家プロジェクトに参画し、多くの実績を有しています。

13 オフィスで



経営とITの統合コンサルティング

ITの実装を真に価値あるものとするために、経営戦略や中期経営計画の策定、情報化企画からITの実装・運営までをシームレスかつ全面的に支援しています。

12 ホームで



駅のホーム用車両接近状況表示、 行先案内表示、緊急案内表示

鉄道のホームやコンコース用の案内表示等の旅客案内ソリューションを提供しています。



マネジメント編



キーウェアグループは、
経営の健全性・透明性を保ちながら、
継続的に企業価値を向上させていくために、
経営体制の強化に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス

※ 基本的な考え方

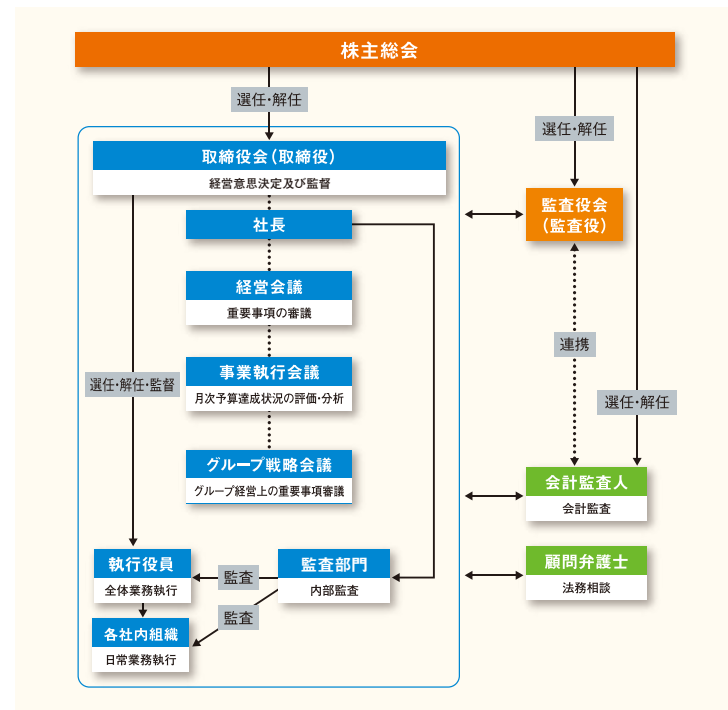
キーウェアグループは、持続的に成長し、長期的に企業価値を向上させ、社会やステークホルダーの皆様から信頼され成長を期待される企業となるためには、コーポレート・ガバナンスが極めて重要であることを認識しており、経営の健全性・透明性の確保、意思決定の迅速化、経営監督機能の充実化、ステークホルダーの皆様との適切な協働により、コーポレート・ガバナンスの充実を図っていきます。

※ 経営監督機能と業務執行機能

キーウェアソリューションズ(株)におけるコーポレート・ガバナンスの基本は、取締役の「経営監督機能」と執行役員の「業務執行機能」において責任と権限を明確化することです。取締役会の透明性を担保するために、社外取締役を選任しています。取締役7名のうち2名は社外取締役で、社外取締役のうち1名は独立社外取締役です。取締役の任期は、毎年度の経営責任を明確にするために1年としています。業務執行機能を担う執行役員は、取締役会の決議により任命され、取締役会が決定した基本方針に従って業務執行にあっています。執行役員は6名で、その任期は1年です。なお、取締役4名が執行役員を兼任していますが、当該兼任者の執行役員としての経験や知識は、取締役としての経営監督機能を高めるものと考えています。

※ 監査体制

監査役及び監査役会による経営監視体制を構築しています。監査役3名のうち2名は社外監査役です。監査役の任期は、監査の独立性を確保してその地位を堅固なものにする必要があることから、4年としています。



コーポレート・ガバナンス体制(概略)

コンプライアンス

※ 基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、法令及び定款の遵守に限らず、社会規範や倫理、道徳など基本的な行動規範の遵守を徹底し、公明正大な事業活動を推進しています。

また、役員並びに全社員が、健全な社会規範のもとにその職務を遂行するため、経営管理部においてコンプライアンスへの取り組みを横断的に統括することとし、同部を中心に教育等を実施しています。



内部通報制度

キーウェアグループでは、法令、社内規定違反などコンプライアンスに反した行為を防止するとともに、早期に発見し、解決するため、「ヘルプライン窓口」を設置しています。通報はプライバシーに配慮した調査のもと、対処・処置については通報者にフィードバックする仕組みとなっています。

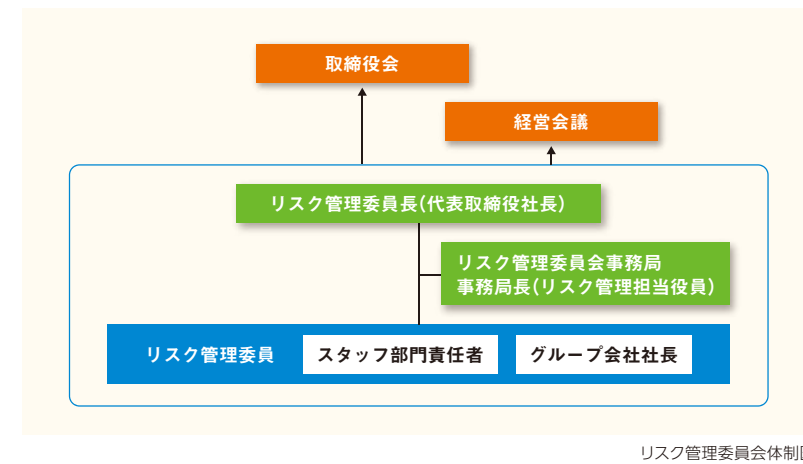
コンプライアンスの啓発・教育の実施

キーウェアグループでは、役員並びに全社員のコンプライアンスへの意識向上を図るため、コンプライアンスに関する情報を役員並びに全社員向けに発信するほか、情報セキュリティ及び社員の倫理的行動を促すことを目的とした教育を役員並びに全社員向けに実施しています。

リスクマネジメント

※ 基本的な考え方・推進体制

キーウェアグループでは、自然災害、事故、伝染病及び会社の事業運営に重大な影響を及ぼすリスクの未然防止、発生したリスクへの速やかな対応を行うことにより事業運営を継続することを目的とし、リスクマネジメントを推進しています。推進体制として、「リスク管理規程」に基づいてリスク管理委員会を設置し、各リスクごとに事業継続のための対処方法等を各種規程等に定め、それらに基づいたリスクマネジメントを実行しています。



リスク管理委員会体制図

大規模災害への対策

地震、台風、伝染病、テロ及び社会インフラ、ライフラインの寸断などによる大規模災害が発生し、キーウェアグループが被害にあった場合、またあう恐れのある場合、役員並びに全社員の安全確認や事業早期再開に向けた基本方針として「災害対策規程」を整備し、行動マニュアルや備品(3日分の水、食料、ブランケット、簡易トイレ等)の整備、防災訓練などを実施しています。

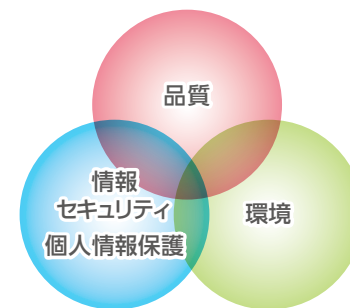


防災訓練の様子(本社)

統合マネジメントシステム(品質・情報セキュリティ・個人情報保護・環境)

※ 基本的な考え方

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステム(QMS)、環境マネジメントシステム(EMS)、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)、及び個人情報保護マネジメントシステム(PMS)を統合したマネジメントシステム「iSMASH」を運用しています。



※iSMASH:
Integrated Synthetic Management
System of Quality Assurance
for a Software House



品質

キーウェアグループでは、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001認証を取得し、品質の向上に取り組んでいます。また、品質マネジメントシステム(QMS)の運用だけにとどまらず、現場レベルのPDCAサイクルの好事例を横展開し、全社で品質マネジメントシステム(QMS)をブラッシュアップする活動を進めています。

情報セキュリティ

キーウェアグループでは、ISMS認証を取得し、機密情報管理を徹底しています。また、日常的に守るべきルールを「情報セキュリティ遵守事項」としてまとめ、役員並びに全社員及び当社業務に関わるパートナー会社社員に配付しています。「情報セキュリティ遵守事項」は、社内外の状況変化に対応するため、毎年見直しています。これに加え、全社・部門・プロジェクト等の各階層において、情報セキュリティ教育を継続的に実施し、情報セキュリティ意識の向上を図っています。



個人情報保護

キーウェアグループでは、個人情報の取り扱いに際して十分に配慮し、個人情報保護に努めています。また、キーウェアサービス(株)及びキーウェア九州(株)を除く各社において、プライバシーマーク認証を取得しています。

環境編



キーウェアグループでは、環境問題への取り組みを企業の社会的責任と認識し、豊かな社会と環境の実現のため、生物多様性の保全及び温室効果ガス削減に積極的に取り組んでいます。

環境目標

※ 中長期目標



温室効果ガス排出量

2020年度に2009年度比 **25%減少**

※ 単年度目標



電力使用量

2016年度実績と同等以下

2016年度比 **1.5%減少**



2017年度実績と同等以下



紙使用量

2016年度実績と同等以下

2016年度比 **8.4%減少**



2017年度実績と同等以下



廃棄物量

2016年度実績と同等以下

2016年度比 **2.8%増加**



2017年度実績と同等以下



グリーン調達率

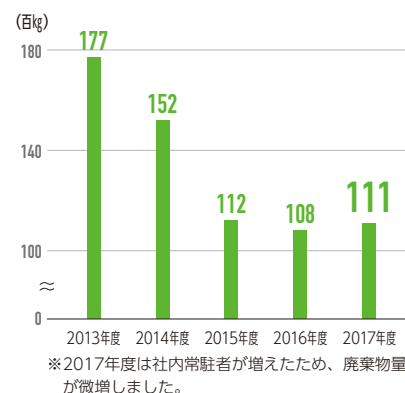
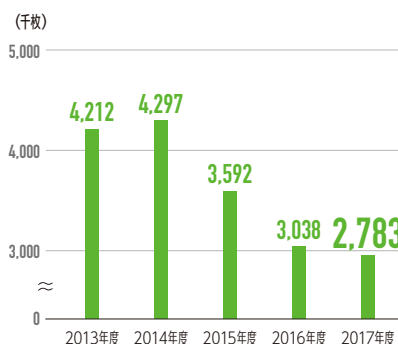
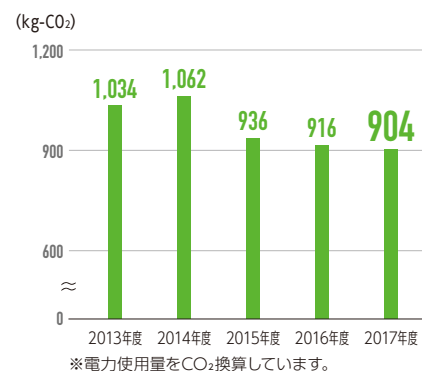
2016年度実績と同等以上

2016年度比 **11.3ポイント増加**



2017年度実績と同等以上

環境パフォーマンス



特筆すべき活動

※ 環境関連の法規制遵守

環境法規制、地方自治体の条例やお客様からの要求事項を特定し、定期的に遵守状況を確認しています。

その結果を経営者へ報告することで、遵法性評価のPDCAを確実に展開しています。

※ 環境教育

キーウェアグループの環境活動に関わる全ての関係者に教育を実施しています。

●役員並びに全社員及び当社業務に関わるパートナー会社社員に対しWBT (Web Based Training) による環境教育を実施。

●その他協力会社 (廃棄物処理業者・清掃業者等) に対し、周知文書・依頼文書を通じた教育を実施。

●中途採用者及びプロジェクトへの新規参画協力会社社員に対する教育を随時実施。

※ 保護 (まもる) くんを活用したリサイクル活動

	2015年度	2016年度	2017年度
年間排出量	11,220kg	10,700kg	9,820kg
森林伐採抑制量	167本	159本	146本
CO ₂ 排出抑制量	4,825kg	4,583kg	4,223kg

保護 (まもる) くんとは

㈱日本パープルが提供している、重要書類の保管・機密抹消処理・リサイクルシステムです。本サービスを活用することで、紙類・PC関連媒体のリサイクルに貢献し、地球環境の保護にも貢献しています。

※ 「ニチバン巻心ECOプロジェクト」への参加

キーウェアグループは、「ニチバン巻心ECOプロジェクト」に参加しています。「ニチバン巻心ECOプロジェクト」とは、使い終わったガムテープやセロハンテープの巻芯を回収し、段ボールにリサイクルし、回収利益をマングローブの植樹に役立てる活動です。

資源の有効活用だけでなく、マングローブの植樹により、豊かな生態系の再生、地球温暖化の防止、周辺地域を台風や高潮被害等から守るなど、環境保護にも貢献しています。



※ ECO事業所宣言

キーウェアグループでは、各自治体が実施しているエコ事業所に登録しています。

- キーウェアソリューションズ(株)本社
せたがやエコライフ推進事業所宣言ECO2レベル
- キーウェアサービス(株)
せたがやエコライフ推進事業所宣言ECO2レベル
- キーウェア西日本(株)本社
関西エコオフィス宣言登録事業所
- キーウェア西日本(株)中部ITセンタ
名古屋市認定エコ事業所
- キーウェア北海道(株)
さっぽろエコメンバー レベル3
- キーウェア九州(株)
福岡県エコ事業所
- (株)フレヴァシステムズ
みなとエコ宣言

※ 木植えあプロジェクト (東北支店)

2018年6月に開催された「鎮守の森のプロジェクト植樹&育樹祭2018 in 岩沼市」に東北支店から4名が参加しました。

会場となった「千年希望の丘」は、東日本大震災で被災した宮城県岩沼市の沿岸約10kmにわたって6つの公園 (丘) を園路 (緑の堤防) でつなぐことで、津波の力を減衰させる役割のほか、いざという時の避難場所となるよう整備されています。

丘の土台などには、人々の生活の証である震災ガレキが用いられており、大津波の痕跡や被災者の想いを後世に伝え、さらに集落跡地などの遺構の保存による震災の記憶や教訓を国内外に発信するメモリアル公園と防災教育の場として活用されています。

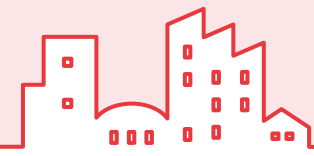
千年希望の丘では、2013年から植樹が始まりました。15 ～ 20年後には立派な森となり、津波の威力を分散・減衰する「緑の堤防」となります。

今回は市内外から500名を超える参加者が集まりました。午前中に育樹活動 (草抜き) を行い、午後に津波に流されずに残っていたタブノキを含む22種類約5,000本の苗木を植樹しました。

今後も東北支店の役割のひとつとして、被災地の復興に役立つ活動を行っていきます。



社会編



キーウェアグループは、企業理念として掲げている「社会的役割」の考え方にに基づき、企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するとともに、さまざまなステークホルダーの皆様との関係を重視し、共に成長・発展していくための取り組みを行っています。

お客様とともに

※ お客様満足度 (CS) 向上

キーウェアグループでは、より高品質のソリューションサービスを提供し、お客様にご満足いただくため、日頃より改善活動に努めています。

※ お客様満足度 (CS) アンケート実施

キーウェアグループでは、お客様に対して満足度調査のアンケートを実施し、自身の業務の改善やお客様によりご満足いただくために結果を活用しています。

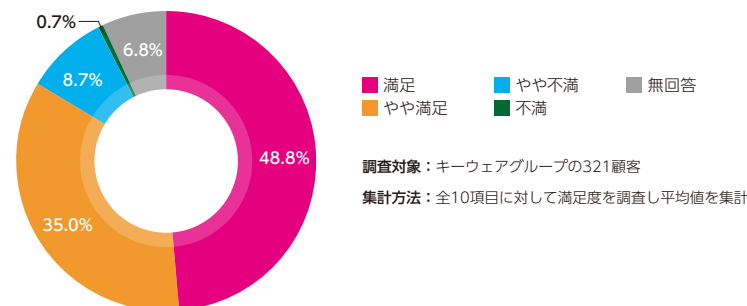
頂いたご意見／ご指摘につきましては、直ちに社内で共有し、改善に取り組んでいます。

※ CS改善活動実施

よりお客様にご満足いただくため、各部門にてアンケート結果の分析を行い、CS改善活動計画を策定し、改善活動を実施しています。

各部門での活動状況は、経営層を含め月次で確認し、改善活動を推進しています。

2017年度お客様満足度 (CS) アンケート結果



株主・投資家の皆様とともに

※ 基本的な考え方

キーウェアソリューションズ(株)は、市場から適正な評価を得るために、企業としての説明責任を果たすことを経営の最重要課題の一つとして位置づけています。

株主・投資家をはじめとしたステークホルダーの皆様へ、充実した情報開示を行うことにより、キーウェアグループに対する理解を深めていただくとともに、皆様の声を社内へフィードバックし、経営・IR活動へ活かしていくことで企業価値向上に努めていきます。

※ 情報開示の基本方針

株主・投資家の皆様に適宜、正確かつ公平な情報を提供するため、会社法、金融商品取引法、各種法令等を遵守し、東京証券取引所の「有価証券上場規程」で定められる情報及びそれらに準拠した情報ならびにその他の重要な情報を迅速に公開するほか、キーウェアグループを理解していただくために有効な情報についても、積極的な開示に努めることを基本方針としています。

※ 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

株主・投資家の皆様向けのIRツールとして、株主通信「KEYWARE TIMES」や、アニュアルレポートなどを発行しています。また、多くの方々に迅速かつ公平にIR情報をお伝えするため、IRサイトにおいて決算情報、財務データをはじめ、キーウェアグループの強みや特長などを日本語と英語で掲載しています。



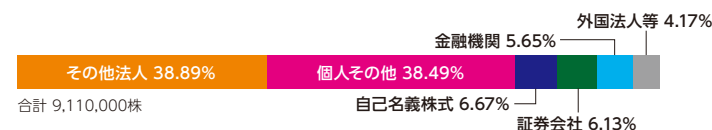
株主通信「KEYWARE TIMES」



機関投資家向け決算説明会

また、アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催し、その様子を動画で配信しています。

●所有者別株式分布状況 (2018年3月31日現在)



地域社会とともに

PICK UP 会社周辺の清掃活動を行っています

キーウェアグループでは、地域社会の環境美化や住みよい街づくりに貢献することを目的に会社近辺の清掃活動を行っています。(株)フレヴァシステムズでは、港区が主催している清掃活動に毎回参加しています。八幡山本社では、毎月始業前にキーウェアソリューションズ(株)とキーウェアサービス(株)の役員並びに全社員の有志20～50名が清掃活動を行っています。また、八幡山本社の近くにある甲州街道はケヤキ並木が有名ですが、秋の落ち葉が多いため、数週間にわたり毎週落ち葉清掃を行います。毎年100名を超える役員並びに全社員が参加しています。ご近所の方との交流、組織を超えた社員コミュニケーション、心身のリフレッシュ等の効果も得られます。これからも継続して実施してまいります。



PICK UP 八幡山本社で献血を実施しました

2017年12月に八幡山本社で献血を実施しました。毎日輸血を必要とする方が多くいます。血液は人工で作ることができず、長期保存もできないため、多くの方々の献血が必要ですが、献血率は高くありません。日本赤十字社から12月は輸血用血液の確保が難しいとの話をいただき、初めて会社として献血を実施することとし、12月上旬八幡山本社に献血車にきていただくことになりました。予想よりも多い44名の協力が得られました。そのうち半数近くが初めての参加でした。社員からも継続を望まれていますので、今後も血液確保の難しい冬に協力したいと考えています。



※ 寄付付き自動販売機の設置

キーウェア西日本(株)およびキーウェア北海道(株)では、役員並びに全社員が社会貢献を身近に考え参加できる取り組みとして、寄付付き自動販売機を設置しています。

キーウェア西日本(株)：盲導犬育成基金

キーウェア北海道(株)：ピンクリボン活動支援

※寄付付き自動販売機は、飲料を購入すると売り上げの一部が支援団体へ寄付される仕組みになっています。

※ インターンシップの実施

学生の皆様の職業観や職業意識の形成・向上を目的として、インターンシップを実施しています。システムエンジニアの仕事を理解していただくために、当社が開発したシステムや製品に触れたり、お客様企業の課題を解決するサービスの企画を考えたりしながら、暮らしの中にある身近な課題をもとに、新たなサービスを創出する仕事のプロセスなどを体験していただきました。

※ 福島ひまわり里親プロジェクト

キーウェアグループでは、福島ひまわり里親プロジェクトに参加しています。福島ひまわり里親プロジェクトとは、2011年5月に福島と全国との絆づくり、教育対策、雇用対策、観光対策等々のさまざまな思いを込めてスタートしたプロジェクトです。里親は種を購入し、栽培し、種を採取して送り返します。その種を福島県内で栽培し、採取した種から油を搾り福島県内で使用します。これらの過程で雇用が生まれ、参加者との絆が生まれ、教育効果もあるというものです。キーウェアグループでは、2014年から参加し、今年も多くの役員並びに全社員が里親としてひまわりを育てています。



社員とともに

PICK UP キーウェア・ファミリーデーを開催しました

2017年8月22日に「キーウェア・ファミリーデー」を開催しました。2016年末に続く開催です。

「キーウェア・ファミリーデー」は、「働きやすい・家族を大切にする職場の雰囲気づくり」を行い、改めてワーク・ライフ・マネジメントについて考えるきっかけにしておもうという主旨で開催しています。社員の家族を招待し、日々社員を支えてくれるご家族の職場に対する理解を深めてもらうとともに、社員のご家族と実際に会うことで、職場のコミュニケーションを促進し、どの社員にも大切なご家族があるということを社内全体で再認識できました。

参加者は12家族（3～12歳の子ども17名と大人13名）。社長から出された指令を完成すべく、1家族1台のタブレット端末を携帯し、QRコードを探して指示を読み解きながら社内を探検し、社長指令を完成させ、最後は社長から修了証とご褒美が授与されました。その後、輪投げや魚釣りなどを楽しみ、お土産として家族写真が貼られたうちわをお持ち帰りいただきました。参加してくれた子どもたちや社員から好評を得ましたので、今年も開催します。



PICK UP マインドフルネス実践会を開催しました

2017年度に3度（第1期：2017年7月～8月〈全4回〉）、（第1期フォローアップ：2017年11月）、（第2期：2018年1月～2月〈全3回〉）にわたり、八幡山本社にてマインドフルネス実践会を開催しました。キーウェアソリューションズとキーウェアサービスからのべ54名が参加しました。

マインドフルネスは欧米で大きな注目を集め、社員の心身の健康やパフォーマンス向上のため、GoogleやFacebook、インテルなど、多くの先進的な企業が導入しています。

マインドフルネスの効果は、心理学や精神医学、脳科学の分野において科学的に実証されており、うつ病や認知症の予防、ストレス対策、集中力や判断力の向上、対人関係スキルにも効果的と言われています。

マインドフルネスは過去でも未来でもなく『今ここに集中している心のあり方』で、そんな状態やそれを目指すプロセスのことです。そのやり方として瞑想を使いますが、宗教性を一切排除したもので、誰でも気軽に行うことができます。

講習の中では、さまざまな瞑想の方法を学びます。呼吸瞑想、振り子瞑想、歩行瞑想、生活瞑想などです。集中力を高めたい、認知症予防、マインドフルネスを経験してみたいなど参加者の目的はさまざまでしたが、効果が感じられたようです。



： 人材育成への取り組み

キーウェアグループでは、社員と会社が互いに成長できる会社を目指しています。社員の技術スキルの向上を図り、より専門性を高めることを経営戦略の重要テーマとして、社員一人ひとりの適性・志向に合った研修プログラムを実施しています。全ての社員を対象として、「階層別研修」「目的別研修」「専門スキル研修」などの研修プログラムを実施しているほか、社員のスキルの向上及び自己啓発支援の一環として資格取得を推進し、会社が必要と認め

た公的資格・認定資格を取得した者に対しては資格取得奨励金を支給して、社員のキャリアアップを支援しています。

またIT業界においてはプロジェクトマネージャーの存在意義がますます高まっていることから、プロジェクトマネジメントに関する国際資格であるプロジェクトマネジメントプロフェッショナル（PMP®）資格取得支援を行っており、これまでに167名の社員がPMP®資格を取得しています。

： 女性社員の活躍を推進するための取り組み

女性社員が活躍できる環境をつくるため、5ヵ年計画を策定し、実行しています。

- 産休、育休中の情報提供や個別説明の実施
- 全社員に対する働き方に関する意識改革を促す取り組みの実施（階層別研修など）
- 昇格候補者に対する意識付け（人事部や上司から）
- 職務に応じた適正な昇格資格の検討
- 女性支援セミナーの実施

部長級・課長級・係長級の女性社員の人数

部長級（管理職）	課長級（管理職）	係長級（一般職）
2名	6名	16名

2018年4月現在 キーウェアソリューションズ㈱

： 多様な人材の活躍を支援するための取り組み

キーウェアグループは、社員一人ひとりの個性や異なる発想・価値観を受け入れ、多様な人材が能力を十分に発揮し成長できる企業を目指しています。多様な人材の活躍支援に向けて国籍や性別の区別なく採用活動を行っており、障がい者の雇用についても実績を重ねています。

外国籍社員の人数と障がい者雇用率

外国籍社員	障がい者雇用率
11名	2.06%

2018年3月末現在 キーウェアソリューションズ㈱

： 健康管理とメンタルヘルスケア

社員が健康で安心して働ける環境づくりをテーマに、2007年にEAPサービス（外部カウンセラー相談窓口）を導入、2009年から保健師による健康相談（長時間労働者、健康診断有所見者）を実施、2016年からキーウェアグループ役員並びに全社員を対象にストレスチェック制度を実施して、社員並びに家族の心身の健康をサポートする制度の充実を図っています。

また、受動喫煙防止と健康増進の観点から八幡山本社の喫煙スペースの縮小を行い、八幡山本社ビルの閉館時刻を23:00から21:30に変更するなど職場環境の改善に取り組み、働きやすい職場づくりを目指しています。

： 労働安全衛生

労働災害発生件数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
業務災害	1件	1件	1件	3件
通勤災害	4件	4件	0件	4件

キーウェアソリューションズ㈱

： ワーク・ライフ・バランス

社員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境を整備できるよう、3ヵ年計画を策定し実行しています。

- 社員の負荷軽減と休暇取得促進を図り、年次有給休暇の年間取得日数を前年度以上、月間平均残業時間を前年度以下にして「健康経営」「ワーク・ライフ・バランス」を実現します。

有給休暇の取得実績

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
平均取得日数	10.2日	11.1日	11.9日	12.3日
平均取得率	51.0%	55.5%	59.5%	61.36%

キーウェアソリューションズ㈱

月間平均残業時間

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
キーウェアソリューションズ㈱	約29時間	約23時間	約21時間	約21時間
キーウェアグループ	約28時間	約23時間	約22時間	約22時間

- 仕事と子育て・介護等の両立を支援・推進する諸制度（育児・介護休業制度、育児・介護時短制度、子の看護休暇、介護休暇、フレックスタイム制度、外部カウンセラー相談窓口など）の周知や情報提供を行います。子育てや介護等のための休暇や職務について、柔軟な対応が可能となるように制度の見直しを図ります。

育児休業取得者・子の看護休暇利用者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
育児休業取得者	15名(1名)	16名(1名)	16名(0名)	18名(1名)
子の看護休暇利用者	8名(3名)	10名(1名)	14名(2名)	20名(7名)

キーウェアグループ（ ）内は男性社員

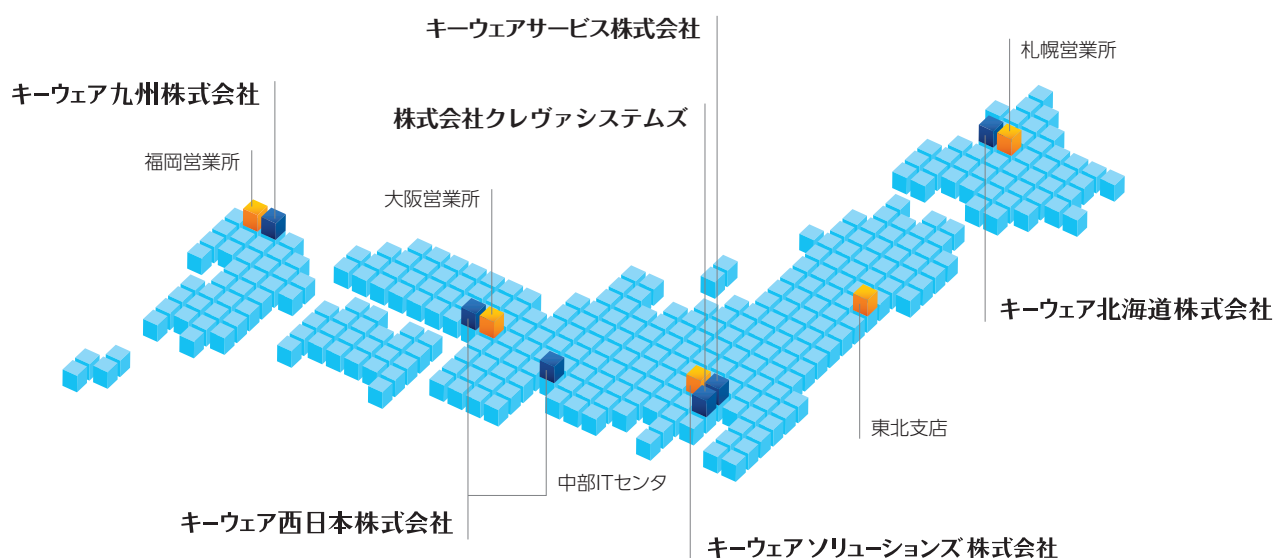
介護休業取得者・介護休暇利用者数

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
介護休業取得者	0名(0名)	2名(1名)	0名(0名)	0名(0名)
介護休暇利用者	4名(4名)	7名(7名)	6名(6名)	11名(10名)

キーウェアグループ（ ）内は男性社員

会社概要

会社名	キーウェアソリューションズ株式会社	キーウェアグループ	キーウェアサービス株式会社
創立	1965年5月		キーウェア北海道株式会社
資本金	17億37百万円		キーウェア西日本株式会社
売上高	167億52百万円 (2018年3月期・連結)		キーウェア九州株式会社
従業員数	1,072名 (2018年3月期・連結)		株式会社クレヴァシステムズ
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 (証券コード: 3799)		



編集方針

「キーウェアグループ CSR報告書2018」をお読みいただき、誠にありがとうございます。キーウェアグループのCSR活動の内容と結果について、ステークホルダーの皆様へ、適切にわかりやすくご報告することを目的として「CSR報告書」という形でご報告しています。

キーウェアグループは、今後も企業活動を通じて豊かな社会の発展に貢献するだけでなく、広く社会とともに継続性のある未来を築いていくため、積極的にCSR活動を行ってまいります。本報告書をお読みいただき、ぜひ忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。今後のCSR活動の参考とさせていただきます。

ホームページ

キーウェアグループの社会・環境活動 (CSR) につきましては、ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.keyware.co.jp/csr/index.html>



報告対象組織

キーウェアグループ全体を対象としています。

報告対象期間

2017年度 (2017年4月1日～2018年3月31日)
※一部に2018年度以降の活動も含んでいます。

発行年月

2018年8月

表紙デザインについて

表紙のデザインには、いつまでも続く豊かな人々の暮らし・社会・環境の実現に向けたキーウェアグループのICTを通じた事業への取り組みを表現しています。

KEYWARE
SOLUTIONS

キーウェアソリューションズ株式会社

〒156-8588 東京都世田谷区上北沢5-37-18

経営管理部 CSR推進室

TEL 03-3290-1111 FAX 03-3290-6741

<https://www.keyware.co.jp/>

※掲載されている会社名と製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。



本誌は、植物性インキを使用しています。
本誌は、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。